

稲沢市コミュニティバス及び  
コミュニティバス接続便  
利用状況等報告書

令和元年7月

市長公室地域協働課

# 目 次

1	コミュニティバス事業の概要及び経緯	1
2	コミュニティバスの利用状況	1
	(1) コミュニティバスの1日あたりの利用者数	1
	(2) コミュニティバスの曜日別利用者数	3
3	コミュニティバス接続便の利用状況	4
4	コミュニティバスの利用者1人あたりの運行経費における市負担額	5
5	コミュニティバス接続便の利用者1人あたりの運行経費における市負担額	6

## 1 コミュニティバス事業の概要及び経緯

コミュニティバス運行事業は、稲沢市地域公共交通会議において策定した『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』（以下、『計画』）に基づいて、2路線2系統（東西幹線、南北幹線）による試行運行（平成20年7月1日から平成22年6月30日まで）を経て、平成22年7月1日から3路線4系統（祖父江・下津線 ふれあいの郷系統及び地泉院系統、平和・千代田線、大里循環線）による本格運行を開始し、平成26年11月4日から『計画』を変更し、新たに6路線7系統による運行を開始しました。

その後は、利用状況、市民及び利用者アンケート調査、OD（起終点）調査などの結果を分析し、『計画』における問題・課題の整理を行い、地域の要望や道路整備等の進捗を踏まえながら同会議におきまして、『計画』の変更について協議検討を重ねました。

その結果、平成31年4月1日（月）から『計画』を変更し、5路線6系統による運行を開始しました。

この『報告書』は、平成31年4月1日（月）から令和元年5月31日（金）までの期間におけるコミュニティバス並びにコミュニティバス接続便の利用状況についてまとめたものです。

## 2 コミュニティバスの利用状況

### (1) コミュニティバスの1日あたりの利用者数

中型バスで運行する「幹線（稲沢中央線 アピタ稲沢店系統）」とワゴンタイプで運行する「支線（祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統、同線 地泉院系統、下津・稲沢線、大里線、千代田・平和線）」における各運行路線の1日あたりの利用者数は、次頁以降の表のとおりとなります。

表1は幹線（稲沢中央線 アピタ稲沢店系統及び矢合系統）における利用者数を示しております。

本市が運行経費を負担しております稲沢中央線 アピタ稲沢店系統における平成31年4月1日から令和元年5月31日（計画変更1年目）の1日あたりの利用者の平均は279人となっております。

表2は支線（4路線5系統）における利用者数です。計画変更1年目の1日あたりの利用者の平均は233人となっております。

また、表3は支線における路線別1日あたりの平均利用者数、表4は支線における路線別1便あたりの平均利用者数の比較となっております。

○表1 幹線（稲沢中央線 アピタ稲沢店系統及び矢合系統）における利用者数

路線 月	運行 日数	アピタ稲沢店系統			矢合系統 【平日21便・休日16便】	合計 【平日36便・休日30便】
		【平日15便・休日14便】	うち市負担分 【平日11便・休日11便】	1日あたりの 平均利用者数		
平成31年4月	30日	10,174人	8,562人	285人	9,448人	19,622人
令和元年5月	31日	9,913人	8,436人	272人	9,101人	19,014人
合計	61日	20,087人	16,998人	<b>279人</b>	18,549人	38,636人

○表2 支線における路線別の利用者数

路線 月	運行 日数	祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統 【1日8便】	祖父江・稲沢線 地泉院系統 【1日9便】	下津・ 稲沢線 【1日11便】	大里線 【1日9便】	千代田・ 平和線 【1日8便】	合計	1日あたり の平均利 用者数
平成31年4月	24日	1,587人	1,473人	795人	802人	976人	5,633人	235人
令和元年5月	22日	1,357人	1,404人	778人	680人	858人	5,077人	231人
合計	46日	2,944人	2,877人	1,573人	1,482人	1,834人	10,710人	<b>233人</b>

○表3 支線における路線別1日あたりの平均利用者数の比較

路線 月	運行 日数	祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統 【1日8便】	祖父江・稲沢線 地泉院系統 【1日9便】	下津・ 稲沢線 【1日11便】	大里線 【1日9便】	千代田・ 平和線 【1日8便】
平成31年4月	24日	66人	61人	33人	33人	41人
令和元年5月	22日	62人	64人	35人	31人	39人
平均	46日	64人	63人	34人	32人	40人

○表4 支線における路線別1便あたりの平均利用者数の比較

路線 月	祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統 【1日8便】	祖父江・稲沢線 地泉院系統 【1日9便】	下津・ 稲沢線 【1日11便】	大里線 【1日9便】	千代田・ 平和線 【1日8便】
平成31年4月	8.3人	6.8人	3.0人	3.7人	5.1人
令和元年5月	7.8人	7.1人	3.2人	3.4人	4.9人
平均	8.0人	7.0人	3.1人	3.6人	5.0人

## (2) コミュニティバスの曜日別利用者数

次の表5、6は、平成31年4月1日から令和元年5月31日までの稲沢中央線 アピタ稲沢店系統における曜日別1日あたりの平均利用者数及び支線における曜日別1日あたりの平均利用者数を示したものです。

稲沢中央線 アピタ稲沢店系統における月曜日から金曜日までの利用者数は大差ありませんが、土曜日における利用者数と平日における利用者数の平均を比較しますと、土曜日は35.7%の減、日曜日は35.1%の減となっております。

支線におきましては、祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統の土曜日は約23%の減、地泉院系統は約26%の減であり、下津・稲沢線は約21%の減、大里線は約31%の減、千代田・平和線は約18%の減となっております。

○表5 稲沢中央線 アピタ稲沢店系統における年度毎の曜日別1日あたりの平均利用者数

単位：人

路線 曜日	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月曜日	299			
火曜日	334			
水曜日	340			
木曜日	298			
金曜日	324			
土曜日	205			
日曜・祝日	207			
平日の平均	319			

○表6 支線における曜日別1日あたりの平均利用者数

単位：人

路線 曜日	祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統	祖父江・稲沢線 地泉院系統	下津・ 稲沢線	大里線	千代田・ 平和線
月曜日	73	66	34	36	35
火曜日	70	68	35	30	40
水曜日	60	64	37	34	47
木曜日	64	62	32	36	40
金曜日	68	67	39	34	43
土曜日	49	46	27	22	33
平日の平均	64	62	34	32	40

### 3 コミュニティバス接続便の利用状況

次の表7は、平成31年4月1日から令和元年5月31日までの1月あたりのコミュニティバス接続便の利用状況を示したものです。

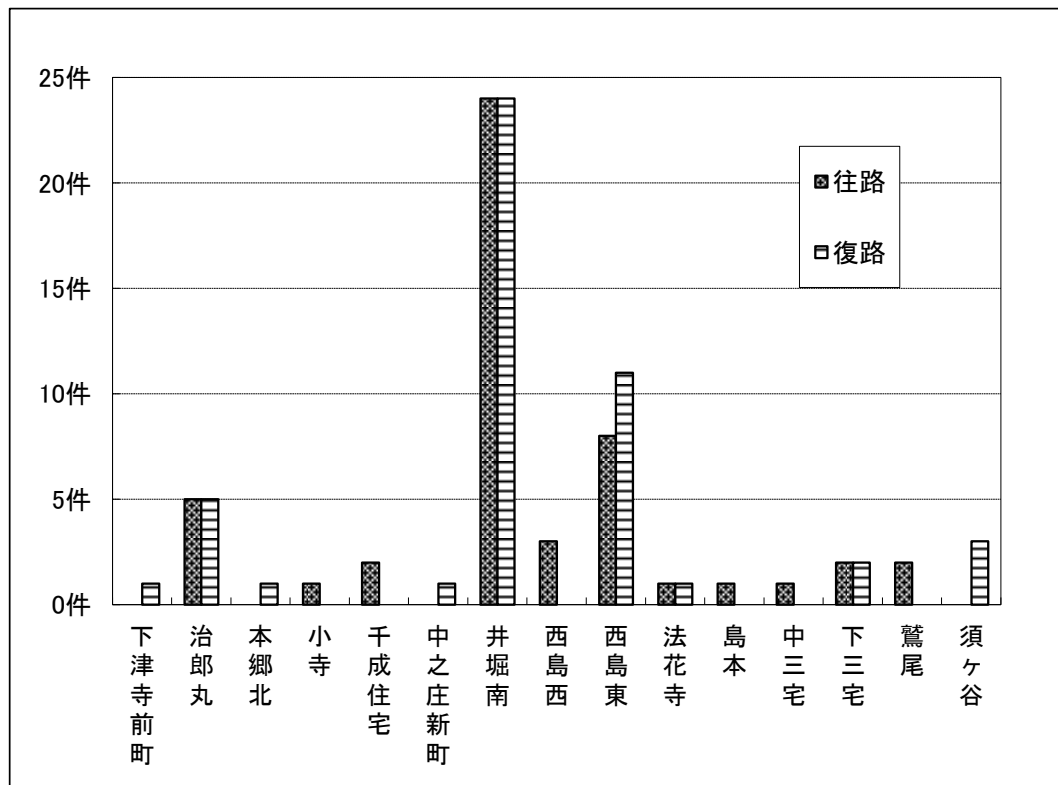
1か月あたりの平均利用件数は49.5件、平均利用人数は54.0人となっております。

年 月	利用件数	利用人数
	[単位：件]	[単位：人]
平成31年4月	58	64
令和元年5月	41	44
平均	49.5	54.0

○表7 コミュニティバス接続便の利用件数及び利用者数

この利用状況を区間別に往路（各接続便乗り場⇒バス停留所）と復路（バス停留所⇒各接続便乗り場）に分け、どの接続便乗り場が利用されたかを示したものが、次のグラフです。

○図5 接続便乗り場の利用件数



『往路』での利用の件数が10件を超える乗り場としましては、「井堀南」が24件、『復路』での同件数としましては、「井堀南」が24件、「西島東」が11件となっています。

#### 4 コミュニティバス利用者1人あたりの運行経費における市負担額

コミュニティバスの運行経費における市負担額は、稲沢中央線 アピタ稲沢店系統は名鉄バス株式会社、他の路線は名鉄西部交通西部株式会社と契約した運行管理委託料から利用料金を差し引きした額となります。

表9は、各運行路線の平成31年4月1日から令和元年5月31日までの期間における利用者1人あたりの運行経費における市負担額を表したものです。

なお、各運行路線における運行経費の積算数値は、表8のとおりです。

○表8 コミュニティバス運行経費の積算数値

項目	金額 (1日1台あたり・税込み)	備考
稲沢中央線 アピタ稲沢店系統	84,744円	平成31年4月1日～令和2年3月31日
祖父江・稲沢線 ふれあいの郷系統	50,787円	平成31年4月1日～令和2年3月31日
祖父江・稲沢線 地泉院系統	50,787円	平成31年4月1日～令和2年3月31日
下津・稲沢線	48,111円	平成31年4月1日～令和2年3月31日
大里線	46,743円	平成31年4月1日～令和2年3月31日
千代田・平和線	50,085円	平成31年4月1日～令和2年3月31日

項目	金額(税込み)	備考
大里駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 8,694円	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日 (大里線の運行経費に計上)
国府宮駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 24,686円	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日 (祖父江・稲沢線、下津・稲沢線、 千代田・平和線の3路線4系統運行経 費に按分して計上)
追加便	距離制運賃	運行した路線の運行経費に計上

○表9 コミュニティバス利用者1人あたりの運行経費における市負担額の比較

路線 月	稲沢中央線 アピタ稲沢店 系統	祖父江・稲沢線 ふれあいの郷 系統	祖父江・稲沢線 地泉院 系統	下津・ 稲沢線	大里線	千代田・ 平和線
平成31年4月	126円	594円	659円	1,289円	1,241円	1,070円
令和元年5月	141円	653円	639円	1,197円	1,365円	1,121円
平均	134円	624円	649円	1,243円	1,303円	1,096円

## 5 コミュニティバス接続便の利用者1人あたりの運行経費における市負担額

コミュニティバス接続便の運行経費における市負担額は、名鉄西部交通西部株式会社と契約した運行管理委託料から利用料金を差し引きした額となります。

次の表11は、平成31年4月1日から令和元年5月31日までの期間における利用者1人あたりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

なお、コミュニティバス接続便運行経費の積算数値は、表10のとおりです。

○表10 コミュニティバス接続便運行経費の積算数値

区分	単位	金額（税込み）	備考
運行距離が2kmまで	1回あたり	800円	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
運行距離が2kmを超える場合	1回あたり	1,300円	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日

○表11 コミュニティバス接続便の利用者1人あたりの運行経費における市負担額

年 月	運行経費
平成31年4月	933円
令和元年5月	980円
平均	957円